

# 高い評価です！ 続々寄せられる「合格者の声」

[第1回2級検定合格者より]

岩田 慎一郎 氏

日本電気株式会社  
モバイルターミナル事業部  
商品開発部 主任

受験にあたってはモバイルに関する大変広い知識が必要になりますが、それだけに本検定の持つ意義も大きいと感じています。

矢野 光信 氏

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社  
テレコム営業第2部

日頃の真摯な営業活動と検定テキストを真剣に勉強して合格に至りました。今後の営業活動に大いに自信が湧いてきました。

加藤 実 氏

KDDI株式会社  
モバイルソリューション商品開発本部/  
モバイルソリューション2部

今最も動きの激しいモバイル分野の技術、常に最新のトピックスの提供と技術の変遷を包括したMCPCの活動に期待しています。

市川 将志 氏

ソフトバンクモバイル株式会社  
サービスプラットフォーム部 システム開発1部

モバイルシステムの技術に関する幅広い知識を身に付けるのに適した資格です。これを機に1級にも挑戦したいと思います。

飯田 幹也 氏

株式会社東芝  
モバイルコミュニケーション社  
モバイル機器設計第一部 設計第一担当

今回モバイルシステム技術検定(2級)を受検することで、コアネットワーク技術等の幅広い知識を身につけることができました。

佐野 旭 氏

京セラコミュニケーションシステム株式会社  
インターネットビジネス事業部  
プラットフォームシステム課

進化し続けるモバイル機器を駆使する高いリテラシーを持つ技術者が必要とされる中、技術力を測るのに最適な試験だと思えます。

大川 敬之 氏

株式会社ウィルコム  
ソリューション営業本部 第二営業部

モバイルシステムに関する基礎知識を修得する機会として大変有意義な試験であると実感しました。今後、今回得た知識を活かし、お客様に最適な「モバイルシステム」の提案、構築ができるように上級資格の取得を目指したいと思います。

野村 憲治 氏

株式会社NTTドコモ  
法人営業本部  
ソリューションビジネス部

幅広い知識を習得でき、とても満足しています。更なるスキルアップを目指して次は1級を目指します！

## ■ 米国モバイルシステムの第一人者も推薦



PCCA Organizer  
Andrew M. Seybold

I recommend a Mobile System Engineer Certification program by MCPC.

With an effective utilization of wireless data communications, IT systems shall require convenience and user friendliness more than ever. Such an objective could be achieved by an existence of IT system engineers and consultants who have expertise on wireless data communication devices (cellphones, PDA, etc.) and wireless network technologies.

I believe "Mobile System Engineer Certification" program by MCPC will help contribute a lot to grow such experts.

We also have similar educational programs in our Wireless Data University(WDU). With the collaborative activities with MCPC, we will continue to train and foster "high quality" technical experts.

- 協力：情報通信ネットワーク産業協会  
： 特定非営利活動法人 日本プロジェクトマネジメント協会  
： 特定非営利活動法人 ITコーディネータ協会  
： (社)企業情報化協会

- ： (社)電子情報技術産業協会  
： (社)電波産業会  
： (社)日本コンピュータシステム販売店協会  
： (社)日本コンピュータソフトウェア協会

検定・講習会のお問い合わせは

## MCPC モバイルシステム技術検定事務局

TEL:03-5401-1735 FAX:03-5401-1937

e-mailアドレス:msec@mcpc-jp.org

ホームページアドレス http://www.mcpc-jp.org/kentei/

モバイルソリューションを推進する  
**MCPC**

モバイルコンピューティング推進コンソーシアム  
〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-12 芝公園興田ビル2階  
TEL.03-5401-1935 FAX.03-5401-1937  
e-mail:office@mcpc-jp.org  
http://www.mcpc-jp.org

# MCPC

# モバイルシステム技術検定

■ 第4回検定試験日(1・2級) 2007年6月9日(土)

■ 第5回検定試験日(1・2級) 2007年11月17日(土)

- 検定受験のお申込み ○ テキストのご購入
- 受験対策講座、受講に関しては MCPCモバイルシステム技術検定事務局 ホームページでご確認下さい。

<http://www.mcpc-jp.org/kentei/>



MCPC会長  
(東京大学名誉教授/早稲田大学名誉教授)  
工学博士  
安田 博 彦

## IT技術者にとって、必須の資格です。

「ユビキタスネットワーク社会」の中核をなす、モバイル(コンピューティング)システムは、移動体通信、モバイル情報端末、システムソフト、モバイルコンテンツ、アプリケーションソフトの多様化と高度化により、飛躍的な市場拡大が図られつつあります。しかし、モバイルシステムの構成要素(技術)を最適化しシステム提案、設計、構築、運用、改善するのに、十分な技術水準を持つシステムエンジニア、コンサルタント、セールスエンジニアは大幅に不足しているのが現状です。

MCPC(モバイルコンピューティング推進コンソーシアム)ではこれらの市場ニーズに応え、「モバイルシステム技術検定」制度を展開しています。モバイルシステム技術検定はモバイルシステム技術者にふさわしい、知識内容とそのレベルを明示し、ITシステムエンジニア、ネットワークエンジニア、コンサルタント、ITセールスエンジニア、IT関連セールスマンおよび企業の情報システム部門の方々の、学習意欲を喚起し、試験によってその成果を確認するものです。

これまで3回のモバイルシステム技術検定試験実施の結果、多くの技術者の方々に受検していただき、ITネットワーク業界から高い評価がなされました。大手通信キャリアをはじめ多数のシステム企業では、この資格を正式な資格として認定するなど、大きな広がりを見せています。これからのIT関連技術者にとってはワイヤレス通信ネットワークと、情報処理システムの両分野を理解しておくことが必須となります。このモバイルシステム技術検定が皆様のキャリアアップ・スキルアップにご活用いただけることを祈念いたします。

## ● 業界をリードするトップが推薦! ●

私たちはユビキタス社会実現のために、モバイルシステム技術検定の飛躍的拡大を応援し、期待しています。



株式会社NTTドコモ  
代表取締役 社長  
中村 維夫 氏

■モバイル通信とコンピュータシステムの連携を図ってきたMCPCにふさわしい技術検定であり、今後は必須の資格になることでしょう。



KDDI株式会社  
代表取締役 社長  
小野寺 正 氏

■モバイルシステムの企画、提案、構築に関する仕事をする人に、必要とする知識とレベルを明示した資格制度であり、学習意欲を大いに高めることになるでしょう。



マイクロソフト株式会社  
代表取締役 社長  
ダレン ヒューストン 氏

■当技術検定はネットワーク、ハードウェア、ソフトウェアの知識を効率的に習得できるものであり、モバイルシステムへの企業ニーズが高まる中で、IT Proにとって今後必須のものとなるでしょう。



ソフトバンクモバイル株式会社  
代表取締役 社長兼CEO  
孫 正義 氏

■「デジタル情報革命」の更なる実現に向けて邁進するソフトバンクグループにとって、モバイルとITの双方を理解する人材の育成は必要不可欠であり、この技術検定制度に大いに期待しております。



株式会社ウィルコム  
代表取締役 社長  
喜久川 政樹 氏

■モバイル通信は今や社会インフラとして不可欠なものとなっていますが、ITエンジニアの方々にこの検定資格取得を通して、より豊かなコミュニケーション・システムを提案・構築をしていただくことを期待しております。



シスコシステムズ株式会社  
代表取締役 社長  
黒澤 保樹 氏

■この資格を通して、モバイル通信の全体像をバランスよく習得することが可能となるでしょう。モバイル業界は日本が世界に先行して進化を続けており、グローバルビジネスへの布石としても大いに期待できます。



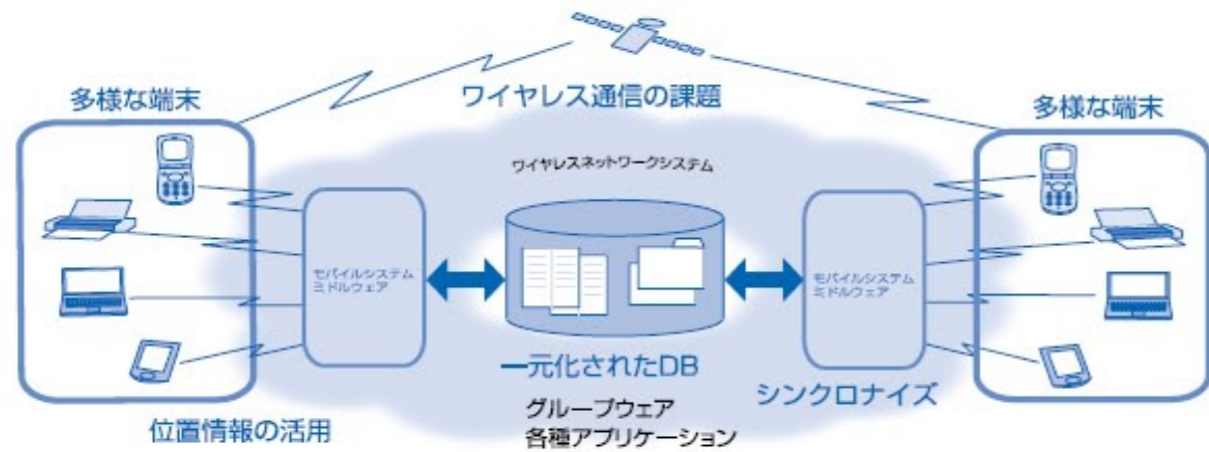
# モバイルシステム技術検定は、モバイル分野、IT分野の 実践的知識を習得していることを認定します。

## モバイルシステムの市場拡大に貢献するMCPC。

MCPCはモバイル(コンピューティング)システムの市場形成と拡大推進を目的に1997年に設立され、注目されてきました。わが国を代表する全ての移動体通信キャリア、コンピュータハード・ソフトメーカ、携帯電話・端末メーカ、システムインテグレータが一同に会して、インターフェースの標準化(例:Wake-On、携帯電話USB仕様、Bluetooth仕様ほか)実践測定の実施と分析、接続検証など技術上の課題への対応、モバイルシステムの普及促進活動(例:顧客支援ほか)などを積極的に行っています。また、米国の姉妹組織PCCA(Portable Computer and Communications Association)と連携しながら技術標準の策定・情報交流を行っています。

## ビジネス現場はもう、モバイルシステムの時代。

モバイル(コンピューティング)システムの活用事例は年を追うごとに増えてきました。具体例では2004年頃から保険、運輸、建設、メンテナンス会社等でのモバイル導入が目立つようになり、最近では数多くの業種、業務にわたって活用されています。リアルタイムな情報アクセスは現代のスピード経営に欠かせないものであり、その結果基幹情報システムとモバイル情報端末が接続されるようになったのです。また、経営と情報システムの一体化の必要性も叫ばれ「何時でも、何処でも、誰でも」セキュアな環境で情報のアクセスを必要としています。携帯情報端末の高機能、高性能化、アプリケーション作成機能の拡充、バッテリー時間の改善さらに端末の多様化、社内外でのシームレスな(無線LAN、WANの自動切換え)接続環境の提供、ネットワークのサービス機能の拡充、位置情報の充実などシステムソリューションに向けて様々な最適技術が提供されるようになりました。



## モバイルシステム技術検定の必要性和狙い。

モバイルシステム技術検定制度はITシステムエンジニア、ネットワークエンジニア、IT企業営業、セールスエンジニア、コンサルタント、企業内情報システム技術者の方々の為に設けられた制度です。モバイルシステムを構成する移動体通信、モバイル情報端末、ミドルウェア/システムソフト、アプリケーションソフトなどの基本知識を理解(2級)した上で高度なネットワークサービス、セキュリティ、業種への具体的適応、システム構築技法、運用などを修得(1級)戴くものです。

本検定は、今後モバイルシステムに業務として携わる方々に、これらの技術を理解し、モバイルシステムの提案、構築、運用改善をより効果的、効率的に行うために必要となる技術知識・情報を習得していただくこと、さらにこの分野における優れた技術者として活躍していただくことを狙いとしています。

従来は、通信関連、コンピュータシステム関連技術が各々独立しているかのようにシステム提案、構築、運用が行われてきましたが、これはそれぞれの生い立ちに起因しているもので、利用者からは必ずしも整合性の取れたシステムが提供された訳ではありませんでした。MCPCによるモバイルシステム技術検定制度の発定により、モバイルシステムの提案、構築、運用のために必要となる知識とそのレベルを明示することによって、IT関連技術者の学習意欲の喚起を行い、その学習成果を検定(試験)により測定することが可能となります。

# MCPC モバイルシステム技術検定は、 シニアモバイルシステムコンサルタント(SMC)、 1級、2級の3種類の資格から構成されています。

## 資格の段階と必要な知識レベル

- 2級検定受験には、特定の資格を必要としません。
- 1級は2級合格者が対象です。
- 1級は3科目の試験からなる科目合格制です。<sup>\*7</sup>

資格の種類	受験資格	必要とする知識レベル	実務への適応
シニアモバイルシステムコンサルタント	1級取得	1級資格取得後1年間以上のモバイルシステム構築・運用経験を有するもので「モバイルシステムコンサルタント研修」(事例研究などに参加、修了した場合)に付与されます。	モバイルシステム構築のコンサルタントとして推奨。  システムコンサルタント 上級SE
1級	2級取得	モバイルシステムを構成する要素について十分理解し、モバイルシステムの運用業務の内容分析、最適システムの提示、システム改善計画の提示、運用の指導を行うに必要な知識、ITスキルとしては、上級システムアドミニストレータ、アプリケーションエンジニア、テクニカルエンジニア(ネットワーク)取得者相当となります。	モバイルシステムについて顧客の要求を理解し課題の整理を行い最適システムを構築、システム構築、運用でのリーダーとして活動します。合格者はシステムエンジニア関連業務4年以上、営業6年以上の知識レベルに相当します。  システム技術者 モバイル系SE 技術管理者 情報システム部門
2級	無し	モバイルシステムを構成するワイヤレス通信ネットワーク、モバイル端末(ハード、ソフト)、モバイルコンテンツとサービス、セキュリティなどのモバイル関連技術についての概要を理解、ITスキルとしては、基本情報技術者、初級システムアドミニストレータ取得者相当となります。	モバイルシステムについて顧客の要求(または提案)について理解し、ヒヤリングが可能でシステム構築の概要が判るレベル。合格者はSI技術関連業務1~3年程度、営業3~4年程度の知識レベルに相当します。  モバイル関連 営業SE 技術部門 情報システム部門

これらの資格をお持ちの方には  
特にオススメです

基本情報技術、初級アドミニストレータ<sup>(※1)</sup>、.com Master<sup>(※2)</sup>、MCP<sup>(※3)</sup>、MCSA<sup>(※3)</sup>、CCNA<sup>(※4)</sup>、CCDA<sup>(※4)</sup>、

(※1) (株)情報処理推進機構(IPA) (※2) NTTコミュニケーションズ(株) (※3) マイクロソフト(株) (※4) シスコシステムズ(株) (※5) 日本プロジェクト・マネジメント協会 (※6) ITコーディネータ協会

## MCPC監修モバイルシステム技術テキスト

**モバイルシステム技術テキスト(エキスパート編)**  
(モバイルシステム技術検定試験1級対応)  
モバイルコンピューティング推進コンソーシアム監修

ISBN: 4-88787-670-7  
リックテレコム刊  
B5判 ■ 464頁  
定価: 5,940円(税別)

**1級**

**モバイルシステム技術テキスト**  
(モバイルシステム技術検定試験2級対応)  
モバイルコンピューティング推進コンソーシアム監修

ISBN: 4-88787-908-1  
リックテレコム刊  
B5判 ■ 397頁  
定価: 3,780円(税別)

**2級**

●テキストは書店にてお買い求めください。書店にない場合は検定事務局にお問い合わせ下さい。

## 1級検定の科目合格制について

1級検定試験は科目合格制を採用しており、「ネットワーク」「端末・アプリケーション」「モバイルシステム」の3科目の試験全てに合格することが、検定1級資格認定の条件となります。

科目	ネットワーク	端末・アプリケーション	モバイルシステム
各科目の出題内容	モバイルシステムを構成する無線アクセスネットワーク技術、コアネットワーク技術、IP技術および移動体通信サービスなどが出題されます。	モバイルシステムを構成する各種端末機器の要素技術、構造と開発手法およびシステムアプリケーションの要素技術、開発手法などが出題されます。	モバイルシステム適応業務のフロー分析、最適システムの提示、システム開発管理、システム運用、システム保守および関連法規などが出題されます。

科目合格の有効期限は2年間であり、合格した回の次回より実施される連続3回の検定試験において、当該科目の受験が免除されます。

